

年 月 日 /

学校 年 組 番 なまえ

2022年5月27日付

# 給食に物価高騰響く

## 工夫限界、市負担も

食品価格や物流費の高騰が学校給食の現場に影響を与えている。小麦や油、牛乳などが相次ぎ、限られた予算で栄養価を確保しようと、安価な食品を活用するなど工夫するものの、「限界」の声も漏れる。自治体の中には公費で材料費の一部を負担し、魅力ある給食を維持する取り組みも見られる。



完成したメニューを計量して配膳する職員たち＝水戸市立学校給食共同調理場

「魚料理をもっと提供したいが、高くて出しにくい」。給食を作る水戸市の担当者は、物価高騰の影響を口にする。給食1食に必要なカロリーや栄養素は、学校給食摂取基準で定められている。

給食を作る現場では、鶏のもも肉を胸肉に代えたり、値上がりしたサケを別の魚にしたりするほか、油の価格上昇を受けて揚げ物の回数を減らすなどして、日々やりくりする。

調理用油の相場によると、調理用の油1缶(16・5kg)の価格は近年上昇を続ける。3学期の平均価格は2020年度が3126円だったが、21年度は4287円に。本年度1学期は5092円になる見込み。担当者は「さ

らに値上がりすると聞いて」と頭を抱える。

水戸市は本年度、公費で食料料費の一部を負担する「子育て応援学校給食支援事業」を始めた。物価の上昇に対応し、家庭の負担を抑えようと、5千万円を当初予算に盛り込んだ。地元農産物を活用する事業を含め、計1億1千万円を充てることで、給食費の約1割強を公費負担とする。

同市は2005年以降、給食費の価格を据え置いた。しかし、物価上昇で小中学生が必要な栄養価を確保するには、「難しい」(市学校保健給食課)と判断した。事業開始を受け、同調理場の小林雅史場長は「十分な栄養価に加え、旬

の食材を楽しめる給食にしたい」と話す。

原材料の高騰は全国で広がっており、昨年から今年にかけて、給食の仕入れ値は平均で1割ほど上昇しているという。給食費の値上げに踏み切る自治体も出てくる。文部科学省は4月、物価高騰に対する緊急経済対策として、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」について各教育委員会に通知した。

子どもの割合が県内で最も高いつくば市は、物価上昇による給食費の値上げは「考えていない」(市健康教育課)という。同交付金で値上がり分を補填するかどうか検討している。担当者は「今はやりくりできているが、徐々にしわ寄せがくるのではないか。肥料の値上がりなどの影響も懸念している」と物価の動向を注視する。

潮来市は本年度、市立小中学校の給食費を完全無償化した。本年度の当初予算に約2億4千万円を計上。村田慎一郎学校教育課長は「(高騰で)質や量を下げるのは本末転倒。質量を確保し、仮に予算が足りなくなれば、補正予算も検討したい」と話した。

(松浦かえで、石川孝明)

(一部再編しています)

【問1】 学校給食の現場では、物価高騰にどう対応していますか？

安価な食品を活用したり、自治体が材料費の一部を負担したりしている

【問2】 調理用油の平均価格。本年度は2020年度と比べ、約何倍に上昇する見込みですか？

約1.6倍に上昇する見込み (5092÷3126=1.62...)

【問3】 本年度、市内の小中学校の給食を完全無償化した市は、どこですか？

潮来市。約2億4000万円を予算計上した

